

2024年9月6日  
江東区文化コミュニティ財団

江東区森下文化センター 田河水泡・のらくろ館

田河水泡・のらくろ館 開設 25周年記念

児童まんがの時代 永田竹丸展 ～『漫画少年』とトキワ荘、そしてのらくろ～

「田河水泡・のらくろ館」を併設する江東区森下文化センターでは、田河水泡より「のらくろ」の執筆権を継承した「のらくろトリオ」のリーダー、漫画家・永田竹丸の生涯を紹介する特別展を開催中です。永田氏は「トキワ荘」の“通い組”としても知られ、児童漫画や家庭漫画を数多く手掛けましたが、2022年10月、老衰のため88歳で逝去。今回の展示は、初の大規模な回顧展となります。当センター所蔵の原画のほか、没後、資料のほとんどが寄贈された豊島区の協力を得て、豊島区立トキワ荘マンガミュージアム所蔵の資料も借用し、氏の業績を紹介いたします。

<展示の見どころ>

田河水泡が永田竹丸、山根青鬼、山根赤鬼(故人)の弟子3名に「のらくろ」執筆権を継承することを記載した貴重な「承諾書」(複製)を初公開します。また、継承に関して田河水泡が永田竹丸に宛てた書簡や、弟子として信頼を寄せていたことが伺える書簡などの貴重な資料も。さらに、永田竹丸がトキワ荘時代の思い出を描いた作品「トキワ荘物語」の生原稿全16ページを展示します。

【永田竹丸プロフィール】1934(昭和9)年、東京都杉並区に生まれる。中学一年生より『少年クラブ』『漫画少年』等で投稿画が次々に入選。1952(昭和27)年、学童社刊『漫画少年』の「漫画まんが新聞」でデビュー。『漫画少年』を通じて寺田ヒロオ・藤子不二雄らと知り合い、トキワ荘へ通い「新漫画党」同人となるなど、数々の漫画家たちとの交流があった。1960(昭和35)年「ピックルくん」で第一回講談社児童まんが賞を受賞。「ロボットS1号」や「とびだすテレビボーイ」などの児童漫画や、「シンちゃん」「おにいちゃん」などの家庭漫画を多数執筆。

【会期】開催中～9月16日(月・祝)

【時間】9:00～21:00

【会場】江東区森下文化センター 1階展示ロビー (入場無料)

東京都江東区森下3-12-17 (地下鉄「森下」、「清澄白河」駅より徒歩8分)]

TEL:03-5600-8666 FAX:03-5600-8677

【主催】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区森下文化センター(田河水泡・のらくろ館)

<https://www.kcf.or.jp/morishita/>

この度貴社媒体でぜひ本事業をお取り扱い頂きたく情報をご案内させていただきました。

取材していただける場合は、ご一報いただけましたら幸いです。

【発信元】公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

管理課広報担当：上村、伊藤 TEL. 03-3644-8119

